

日本語複合動詞「V直す」、「V返す」、「V戻す」の特徴

木山直毅*¹ (大阪大学大学院)

Japanese Compounds “V-naosu”, “V-kaesu”, and “V-kaesu”

Kiyama Naoki (Graduate School of the University of Osaka)

1. はじめに

本稿では、(1) のような日本語複合動詞「V直す」、「V戻す」、「V返す」の3つを質的、量的な観点から考察する。

- (1) a. 建て直す、言い直す、書き直す、見直す、キャッチし直す
- b. 呼び戻す、埋め戻す、差し戻す、奪い戻す、取り戻す
- c. 取り返す、引き返す、蒸し返す、捏ね返す、繰り返す

これら3つの複合語は、以前に何かを行ったことを、再度、何らかの目的を持って行うことを表す。その点で異なっているようで似ている複合語である。そこで『現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)』*²を用いて(1)の意味や特徴を整理し分析する。

2. 先行研究

2.1. 斎藤 (1992)

「V返す」の先行研究として、まず斎藤 (1992) を考察する。斎藤の「V返す」の意味分類は表1である。格助詞の現れ方と、事態の構成要素、動作の前提と結果の違いから意味分類をしたものが表2である。

<< 斎藤の問題点 >>

表1の4つの分類を(ii)と(iii)の2つに分類することができる。それに加え、表1の(iii)の分類における、動作主の相違に関しては無記述である。動作主性とは例えば(2a)と(2b)のような場合である。

- (2) a. ...をきっかけに急にまた気力をもり返したようだった。
- b. あなたがこちらに姿を見せれば、その手の報道がまた蒸し返されるだけです。

*¹ kiyama.naoki@gmail.com

*² <https://chunagon.ninjal.ac.jp>

表1 「V返す」の齋藤(1992: 183)の意味分類

説明	例
(i) 物体の表裏の向きを逆にする。	鋤き返す、(土を)掘り返す
(ii) ある方向への移動、働きかけに対して、それとは反対方向への移動、働きかけを行う。	
a. 反射、反動作用を表す。	照り返す、(弾を)跳ね返す
b. 他者からの行為に対して、こちらからもそれに対応する行為を行う。	どなり返す、笑い返す
c. (こちらに向かってくる事物にある作用を加え)移動方向を逆にする。	追いつ返す、送り返す
d. 離れていく事物をこちら側へとひきもどす。	奪い返す、呼び返す
(iii) もう一度同じ動作、行為を行なう。	(答案を)見返す、読み返す
(iv) 移動してきた方向へもどる。	引返す、(波が)巻き返す

表2 表1(ii)の細かい分類 (ibid: 188)

	文型	構成要素	前提	結果
	A ガ C ヲ B カラ			
(ii)a	(e.g. 太郎が盗まれた品物を犯人から取り返す)	A, C, B	A → B	A ← B
	A ガ C ヲ (B へ)			
(ii)c	(e.g. 太郎が荷物を(郷里へ)送り返す)	A, C, (B)	A ← B	A → B
	A ガ C ヲ			
(ii)d	(e.g. 壁がボールを跳ね返す)	A, C	A ←	A →

(BCCWJ*3)

(2a)において、気力を盛り返すのは、以前に気力があり、現在は気力を失ってしまった人で、動作主は一貫して同じ人である。一方で(2b)では、蒸し返す人は、かつて噂していた人と現在噂している人では異なっている。では、どのようなV₁の時にこのような動作主の一致、不一致が生じるのだろうか。齋藤はこの点は何も論じていない。

2.2. 王、由本(2009)

王と由本は語彙意味論の立場から「V直す」を中国語と比較して分析をしている。彼女らは、「V直す」の意味を(3a)-(5a)のように3つの語彙概念意味(LCS)で記述している。各LCSの例は(b)である。

(3) a. [x [CONTROL [AGAIN [LCS₁]]]]

*3 本紙では例文の下線は全て発表者による

- b. 走り直す、橋を渡り直す、飲み直す
- (4) a. [x CAUSE [y BECOME [y BECOME [y BE [AT-RIGHT]]] BY [x CONTROLE [AGAIN [LCS₁]]]]]
- b. スープを温め直す、論文を書き直す、計画を練り直す
- (5) a. [x CAUSE [y BECOME [y BE [AT-z]]] BY [x CONTROL [AGAIN [LCS₁]]]]]
- b. 古い町家を喫茶店に建て直す、英文を和文に書き直す (王、由本 2009, 王 2011)

<< 王、由本への反論 >>

- 「スープを温め直す」 → 元の「温かい状態」へと戻すことが目的
- 「論文を書き直す」や「計画を練り直す」 → 現状より良いものを生み出すことが目的

表3 「温め直す」と「練り直す」

	温め直す	練り直す
復元	○	×
修正	×	○

- (6) 「温め直す」タイプ：ログインし直す、カーテンを引き直す、ダウンロードし直す、服をかけ直す
- (7) 「練り直す」タイプ：まとめ直す、加工し直す、巻き直す、録音し直す、書き直す

それに加え、(3b)の例文は全て(5)に分類されても良いものではないだろうか。由本は(3)が元であることを主張しているが(3)の「反復」を純粹に表すことは可能なのだろうか。

2.3. 姫野 (1999)

姫野は「V直す」の動作主一致の問題を非常に細かく分類しているため、「V直す」の動作主一致は姫野を踏襲することとする。表4は姫野の分類の一部を簡単にまとめたものである。

3. 研究内容

3.1. 「V直す」の意味ネットワーク

本研究では「V直す」を図1のように意味を分類する。そして各意味の定義は(8)のようになる。

- (8) 修正: 動作を行うことで以前の状態に比べ、状態が改善されることを意図した動作
「前のXが悪かったため」や「よりXを良くするために」と共起可

表4 姫野の動作主の同一性の記述 (ibid: 198-203)

動作主の異なり: 不可	例
i. 移動など、身体全体の動きに関する語	歩き直す、辿り直す
ii. 着脱など、身体の部分の動きに関する語	(視線を) 向け直す、(顔を) 洗いなおす
iii. 対等な対人行為に関する語	出会いなおす、戦い直す
iv. 感情、思考、知識獲得に関する語	気を取り直す、自身を持ち直す

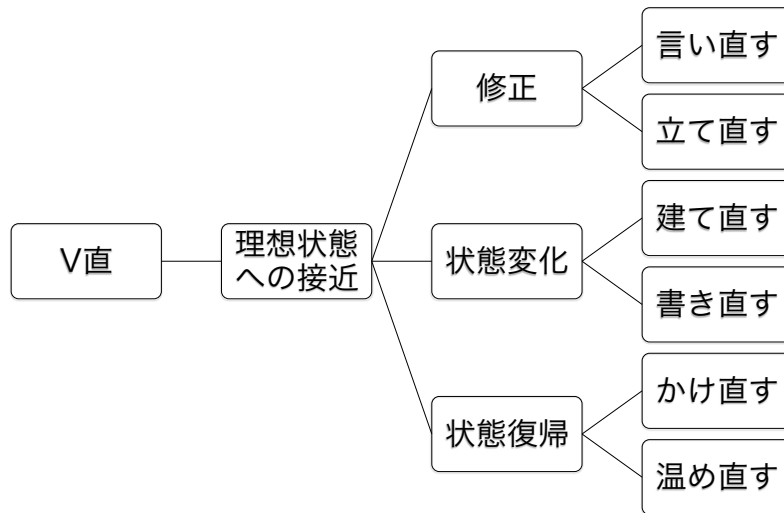


図1 「V直す」の意味ネットワーク

状態変化: 動作を行った直後と「V直す」を行った直後で、動作の対象物が異なる動作ヲ格と二格の両方が共起することが可能となる。

状態復帰: 以前の状態に戻すことを意図した動作

「V直す」を「元のXに戻す」と置き換えできる

- (9) a. 材料は、とりあえずはこれで充分です」 キヨシは言い、それで私は急いで椅子にすわり直した。
- b. データを分析し、組み合わせ、まとめ直し、さもなければ内容を変え、時には送る途中で新しい情報を創り出してしまふ。
- c. た。彼女はもっと一緒に飲んで話していたかった。初めてきた客でも、ほかの店で飲み直そうと誘う人がいるが、彼はそうでなかった。

- d. 宗教と科学との対話を通して、従来なされてきた仏教思想研究がふたたび解釈し直されなければ、仏教の現代的な意義とそれがもっていた本来の使命は明らかにされない
- e. 靴のひもがほどけていたのね』 母親は、歩道にひざまずいて、息子の靴のひもを結び直してやりながら、何気なく眼を上げた。
- f. こんな立派な所じゃなくていいから、もっと安いホテルを見つけ直してくれないか、その目はそう言っていた。
- g. 「でも、少しずつ、考え直してくれてるプロデューサーが出てきてさあ」
- (10) a. 九尺二間のみそ倉をつぶして車庫にし、母屋をプレハブ造りに建て直した。
- b. 先に私や先輩が作成したと思われたくないので、最近では、発送前に私がこっそり作成し直しています。
- c. 次いで上方の旧作を仕立て直した新作の、『あかね染』赤根屋半七、『恋の湖』稲野屋半兵衛、『椀久末松山』...
- d. することで、Unix 用に書かれたソースコードを Windows 用として全面的に書き直すという膨大な手間を減らし...
- e. ルムスキャナでデジタル化して、CD-R などに入れて定期的に別の CD-R などに焼き直せばいい。
- (11) a. SP2 を削除した後に再度アプリケーションをインストールし直すと、トラブルを回避することができます。
- b. をかけ、居間を抜けて玄関からポーチに出た。キーを使って外から玄関のドアに鍵をかけ直し、ポーチの石段を駆け降りてロッジのまへの小道を横切った。
- c. こんどはダルタニヤンのほうですぐ一歩後退し、剣を構え直した。
- d. 帰る時間がはっきりして、それに合わせて飯を作ったり、冷めた飯を温め直したり、風呂を入れたりすることができて便利ではある。
- e. シフトアップ時やアクセルを踏み直したときに、瞬間的に燃料を増量することでレスポンスや瞬発力が得られる。
- f. 項目が表示されない場合は、コンピュータの管理者としてログオンし直す必要があります。
- g. 水俣病によってずたずたにされた人々の気持ちをつなぎ直す「場」になっているのです。
- h. 荒廃した国を建て直し、国民が明日に希望が持てるようにするには、各勢力の和解が不可欠である。

(BCCWJ)

3.2. 「V返す*4」の意味ネットワーク

「V返す」の表現は、本動詞「返す」の意味を色濃く保持した表現と、「V返す」に固有の意味の二面性を持つ。次の例を見ていただきたい。

- (12) a. アマは情けない顔のまま困ったような笑みを浮かべて、私が弱々しく [相手に/% 再度] 微笑み返すと…
 b. 私は映子の眼を見つめて頷いた。映子は [相手に/% 再度] 頷き返し、私の耳に唇をつけた。
- (13) a. より煽情的なさっきの話題を [% 相手に/% 再度] むし返してきた。
 b. 読み返すと楽しかった日々が [% 相手に/% 再度] 思い返されて、何だかお婆あちゃんがすぐそこにいるような…。そんな気持ちになれた。 (BCCWJ)

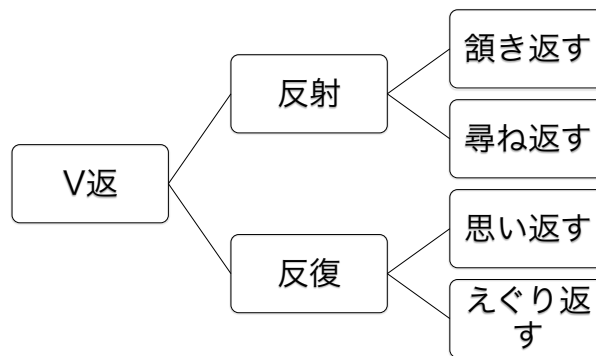


図2 「V返す」の意味ネットワーク

- (14) 反射: 相手が行なってきた動作を、全く同じ様態によって反復し、相手に返す動作
 (「相手に」と共起可 | ヲ格とニ格が共起可)
 反復: 以前に行った動作を再度行う動作 (「再度」と共起可 | 原則としてヲ格のみが共起可)

次に「V返す」が「反復」用法の動作主の同一性に関する議論に移る (表5参照)。(15)は動作主が同一であり、(16)は動作主が異なっている例である。

- (15) a. この3人は過去の実績からしたらこれから絶対 [この3人は] 巻き返すでしょう。
 b. 彼らから与えられた聖教などは師の説に背いたときには [聖書を与えられた人は] 悔い返された。

*4 「ひっくり返す」や「ごった返す」に関しては、V₁の「ひっくり」の語源がはっきりしないため、ここでは今後の課題として扱わないことにする。同時に、「失敗/ミスを取り返す」なども現在は扱えていないため今後の課題とする。

表5 動作主の同一性

同一でなくてはならない			同一でなくても良い			
巻き返す	悔い返す	煮返す	繰り返す	穿り返す	捉え返す	蒸し返す
吹き返す	思い返す		混ぜ返す	揺れ返す	鋤き返す	掘り返す
盛り返す	読み返す					

- c. 何の知識もない我々にいきなり色々説明されても理解できるはずもなく [我々は] 何日もマニュアルを読み返す日々が続きました。
- (16) a. ふみの父親が警察庁の警備局長であることから捜査一課には事件を蒸し返すなという空気が漂っている。
- b. 夜中に墓地に出かけては、埋葬されたばかりの死体を掘りかえして持ち帰ったのだ。
- c. 文子の手話を、施設の先生みたいに上手だと言う齊藤に、先生よりうまいと小池がまぜっ返して、三人は大笑いした。 (BCCWJ)

3.3. 「V 戻す」の意味ネットワーク

「V 戻す」は本動詞「戻す」の意味をほぼそのまま引き継いだ意味となっている。

- (17) a. 結果はいわばもとの世界へひき戻されることに終わった
- b. 2004年3月に時間を巻き戻してして話を進めていきます
- c. 売りをかけて値下がりしてから買い戻すプロでない限り ...
- (18) a. 彼を自身の侍医としてソウルに呼び戻す。
- b. カセットを何度も巻き戻して。
- c. みどりの窓口で払い戻せますか。 (BCCWJ)

以上のことから、「V 戻す」は、これまでに見た複合語に比べ、元の意味を保っている。そこで、「V 戻す」に関しては次のような意味階層を提案する。

3.4. 動詞の特徴付け

本節では、複合語全体がどのような特徴を持つのかを検討する。まず、石井 (2007: 35) に基づく V_1 の「アスペクト・ヴォイスモデル」に基いて意味特徴を見ていく。表6の頻度は百分率による割合である。そしてその結果を対応分析にかけた (図4参照)。この対応分析の結果から、「V 直す」の次

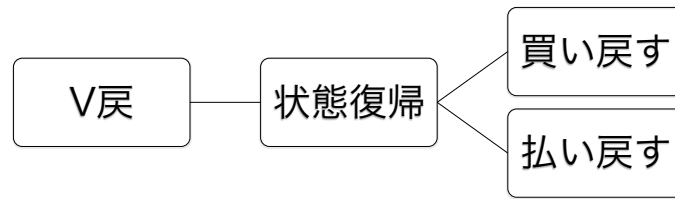


図3 「V 戻す」の意味階層

元にはより他動詞に近い V_1 が、他の2つにはより自動詞に近い V_1 が集まっていることが分かる。

表6 石井のモデルに基づく V_1 タイプと V_2 の結合の割合

	戻す	直す	返す	全体の割合
1 主体動作（自）動詞	10.71	5.48	13.51	9.90
2 主体動作（他）動詞	57.14	58.9	56.76	57.60
3 主体動作客体変化動詞	25	26.03	17.57	22.87
4 主体変化動詞	3.57	1.37	6.76	3.90
5 再帰動詞	3.57	8.22	5.41	5.73
合計	100	100	100	100

3.5. 複合動詞と使用域

Akita (2012) は、特定の形態音韻論が特定の使用域にのみ用いられることを指摘している。そこで本節では対象としている複合語が、使用域にどのような傾向があるのかを考察する（図5参照）。ここでは各動詞項目の頻度が31以上の語に絞った。図5を見ると第1次元においては小説や韻文のような、物語などを書いた創作散文と韻文が集まる次元と、情報散文が集まる次元に分けることができる。第2次元は、アカデミックとノンアカデミックのジャンルに分けることができる。

図5を元に各複合語がどのような特徴を持つのかを概観する。

V 返す: 創作散文やアカデミックのジャンルに偏りが見られ、国会議事録や新聞、白書、広報誌などには出現しない。

V 直す: 「V 返す」ほど強い傾向ではないが、「V 返す」に似た傾向を見せる。しかし、「持ち直す」や「見直す」は政治や経済で多く使われる表現であるため、語彙項目によってはノンアカデミックな情報散文にも用いられるが、大部分は創作散文やアカデミック

Correspondence Analysis

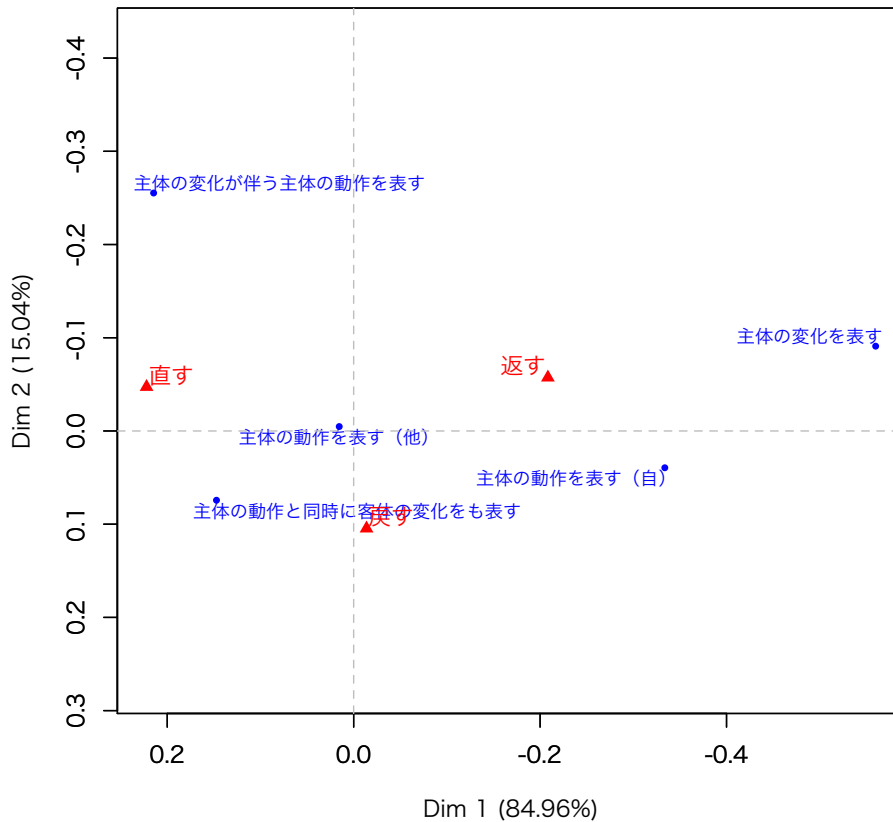


図4 V₁のアスペクトと V₁ の関係

なジャンルで多く使われる。

V 戻す: 他の2つとは異なり、ジャンルに対しては中立的である。

4. 結論

本論では、日本語の複合動詞「V 直す」、「V 返す」、「V 戻す」の3つを比較した。これらは、以前に行った行為をもう一度行う、ということを表している点で共通している。そして V₁ の特徴と V₂ の関係性を石井 (2007) に基いて考察した。その後、使用域を元に複合語全体の特徴を概観した。

参考文献

Akita (2012) "Register-specific morphophonological constructions in Japanese". *The 38th Annual Meeting of the Berkeley Linguistics Society*. University of California. Berkeley

Correspondence Analysis

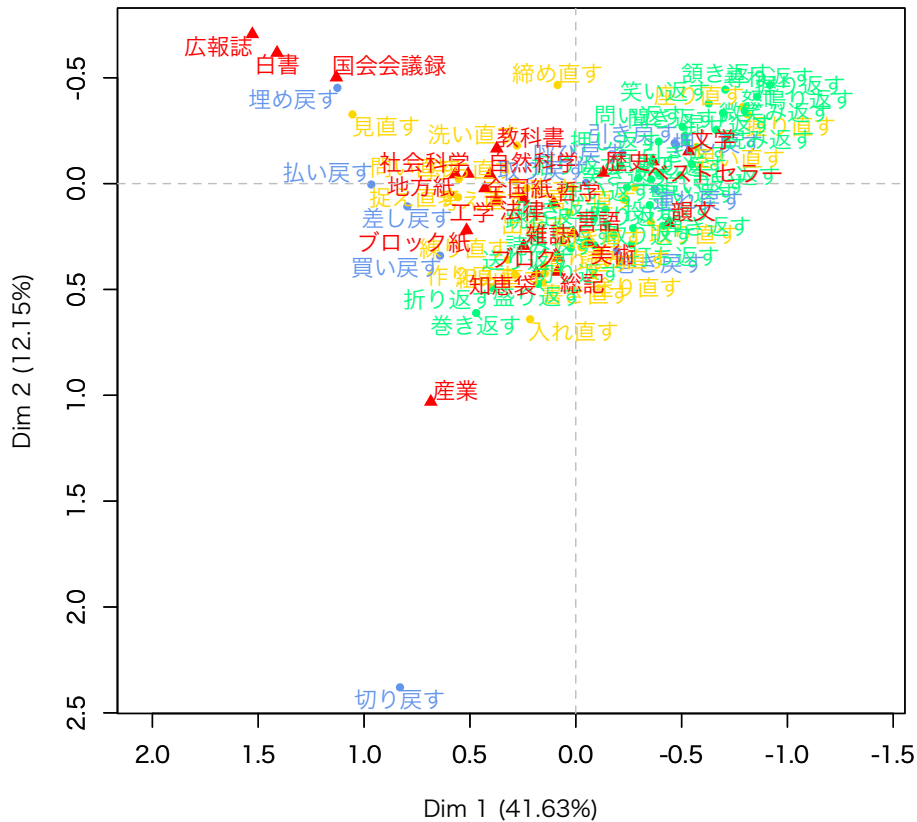


図5 コレスポネンス分析の結果

石井雅彦 (2007) 「現代日本語の複合語形成論」. ひつじ書房

王蓓淳 (2011) 「複合動詞「重 V」の語形成と意味解釈」『言語文化共同研究プロジェクト 2010 自然言語への理論的アプローチ』. pp. 21-30. 大阪大学大学院言語文化研究科

王蓓淳、由本陽子 (2009) 「中国語複合動詞「改 V」の形成と意味-日本語の「V+ かえる」「V+ 直す」との比較を参考に-」. 『日本言語学会第 139 回大会予稿集』. pp. 240-245

姫野昌子 (1999) 『複合動詞の構造と意味用法』. ひつじ書房

森田良行 (1977) 『基礎日本語-意味と使い方』. 角川書店

由本陽子 (2005) 『複合動詞・派生動詞の意味と統語-モジュール形態論から見た日英語の動詞形成』. ひつじ書房